

一戸建て住宅のメンテナンスに関する意識調査

平成20年12月に消費者に対して実施したアンケートの結果より、一戸建て住宅のメンテナンスに対する意識調査結果の分析を行いました。

<アンケート概要>

送付数：1,536件

平成17年1月1日～平成20年11月30日に木耐協で耐震診断を行った戸建・在来軸組工法の受診者32,278件のうち、ホームページから申し込みのあった方2,060件へメールを送付し、1,536件が有効となる

アンケート実施時期・方法：平成20年12月1日～平成20年12月10日・インターネット調査

回答数：443件（アンケート回答率 21.50%）

なお、本分析に当たっては、アンケート上の各回答を以下のように区分しています。

修繕費用を支出してもよい

「現在、毎月修繕費用を積み立てている」「建物が長持ちするのであれば負担しても良い」「建物の資産価値が上がるのであれば負担しても良い」「良いサービスが提供されるのであれば負担しても良い」のいずれかを回答された方
修繕費用は必要ない・負担したくない

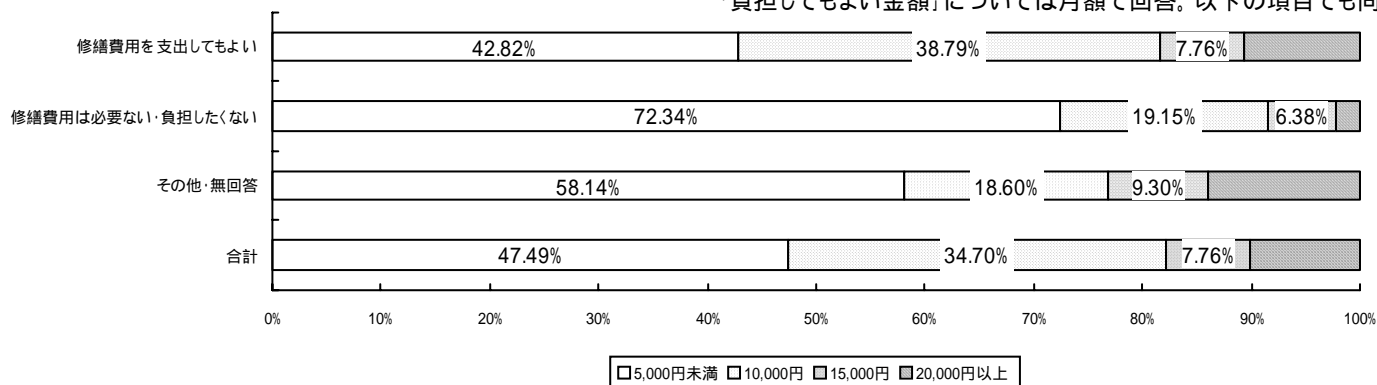
「一戸建て住宅には修繕費用は必要ないと思う」「毎月の修繕費用を負担したくない」のいずれかを回答された方

「修繕費用として負担してもよい金額」のうち「20,000円以上」の区分には「25,000円」および「30,000円以上」の回答を含みます。（平均額の算出時には回答された金額を元にしていきます）

メンテナンスに対する意識と負担してもよい金額との相関

	5,000円未満		10,000円		15,000円		20,000円以上		無回答	合計	平均額（円）
修繕費用を支出してもよい	149	42.82%	135	38.79%	27	7.76%	37	10.63%	1	349	9,454
修繕費用は必要ない・負担したくない	34	72.34%	9	19.15%	3	6.38%	1	2.13%	2	49	6,915
その他・無回答	25	58.14%	8	18.60%	4	9.30%	6	13.95%	2	45	9,651
合計	208	47.49%	152	34.70%	34	7.76%	44	10.05%	5	443	9,201

「負担してもよい金額」については月額で回答。以下の項目でも同様



費用に対する意識が高いほど、費用負担してもよい金額は増加傾向

修繕費用について、「修繕費用を負担してもよい」と答えた人の60%以上は月額10,000円以上を負担してもよいという回答をしたのに対し、「修繕費用は必要ない・負担したくない」と答えた人の7割以上が負担しても月額5,000円未満までという回答をしていました。

建物は「建てれば終わり」ではなく、定期的なメンテナンスを行うことによってより長持ちさせることが可能です。事業者からの意識喚起をより積極的に行うことによって、ストック型住生活への政策転換がより円滑に行われるものと考えられます。